

- ① 期 日 昭和48年9月14日～16日（2泊3日）  
 ② 会 場 国立大雪青年の家  
 ③ 参加者 男子1名 女子4名（本県より派遣）

(4) 研修方法

- ① 記念講演  
 ア 演題 「国際社会と日本の将来」  
 講師 日本ユネスコ国内委員会委員 平塚益徳  
 ② 野外活動 十勝岳登山  
 ③ 観 賞 「北海道の芸能」  
 ④ 分科会テーマ 「青年学級の現状と課題」  
 ⑤ キャンプファイアー

(3) 研究課題

- ① 共通課題  
 「地域の実情と青年の実態に即した青年学級の開設と運営」  
 ② 研究課題  
 ア 地域類型に即した青年教育計画  
 イ 教育委員会と他機関との連携による青年学級の開設、運営について  
 ウ 青年の意識調査と学習内容の編成

(4) 委託の期間、条件

- ① 委託期間 昭和48年度  
 ② 条件  
 ア 委託の経費として、1学級あたり県費2万円を交付する  
 イ 研究の成果について、県教育委員会に報告書を提出する

## 8. 県研究青年学級の委託

(1) 趣 旨

急激な社会構造の変化に対応した青年教育計画を確立するために、公教育機関である青年学級にたいして、県が研究青年学級として「関連行政との連携を考えながら効果的な開設、運営等の方法についての研究」を委託し、その成果について波及効果をねらっている。

(2) 研究委託青年学級名

教育事務所	教育委員会名	青年学級名
県 北	保原町教育委員会	保原町中央青年学級
県 中	古殿町教育委員会	古殿町青年学級
県 南	白河市教育委員会	青春教室
会 津	熱塩加納村教育委員会	熱塩加納村青年学級
相 双	新地町教育委員会	新地町青年学級
いわき	いわき市教育委員会	常磐オフィスレディスクール

## 9. 県青年教育研究協議会の設置

(1) 趣 旨

青年教育振興方策についての調査研究をするとともに、学習指導に関する研究および資料作成を行い、本県青年教育の振興に資する。

(2) 委 員

	教育事務所	氏 名	職業・職名	勤 務 先
1	県 北	松 本 洋 二	公 民 館 主 事	伊達郡保原町中央公民館
2	〃	鈴 木 数 馬	会 社 社 長	福島市栄町 栄印刷所
3	〃	菊 地 昭 夫	主任兼社会教育主事	福島市清水公民館
4	〃	七 島 征	社 会 教 育 主 事	福島教育委員会
5	〃	菅 野 嘉 久	社会教育主事公民館主事	二本松市文化センター
6	県 中	佐 藤 春 男	社 会 教 育 係 長	田村郡船引町教育委員会
7	〃	関 根 隆 男	公 民 館 主 事	須賀川市中央公民館
8	県 南	関 和 生	〃	白河市中央公民館
9	会 津	佐 藤 実	主 事 補	耶麻郡塩川町公民館
10	南 会 津	渡 部 雄 次 郎	社 会 教 育 主 事	南会津郡下郷町教育委員会
11	相 双	松 本 松 寿	公 民 館 主 事	双葉郡楢葉町公民館
12	い わ き	安 齋 秀 雄	主任主査勤労青少年係長	いわき市教育委員会
13	学 識 経 験 者	鈴 木 光 雄	企 画 課 長	福島商工会議所
14	〃	佐 藤 保 太 郎	教 頭	県立福島農蚕高等学校
15	〃	中 妻 昇	通 信 制 主 事	県立福島中央高等学校
16	県北教育事務所	丹 治 成 男	社 会 教 育 主 事	教育庁県北教育事務所
17	県中教育事務所	鈴 木 光 二	〃	〃 県中教育事務所
18	県南教育事務所	添 田 昌 稔	〃	〃 県南教育事務所
19	会津教育事務所	青 山 清 男	〃	〃 会津教育事務所
20		伊 藤 豊 松	〃	〃 社会教育課